

## 北見市備蓄計画の概要

## ○本計画の目的と背景

本計画は北見市地域防災計画の関連計画として、本市の備蓄のあり方などに係る基本的な方針を示す計画であり、本市の災害備蓄品については、これまで食料をはじめ毛布やストーブなどの備蓄を進めてきました。しかしながら、人口減少・少子高齢化の進行に加え、近年の多発化・激甚化する自然災害や新型コロナウイルス感染症対策などにも対応した災害備蓄品のさらなる充実が求められております。

## ○基本的な考え方

(公的備蓄の対象)

本市への影響が大きいと考えられる「常呂川東岸断層帯」「相内北西リニアメント」による地震を想定し、備蓄物資交付対象者数の算定、公的備蓄の整備・確保を行う。

- ・常呂川東岸断層 ～震度6弱～6強
- ・相内北西断層（東傾斜） ～震度6弱
- ・相内北西断層（西傾斜） ～震度6弱

**備蓄物資交付対象者 7,850人** (令和2年3月31日現在)

(公的備蓄物資の配備)

速やかに避難所を開設するため食料や毛布、避難所資機材を小中学校などの**避難所30箇所分を備蓄、適正配備**します。

(公的備蓄の対応期間)

- ・家庭内備蓄・・・各家庭における備蓄
- ・公的備蓄・・・市が備蓄する食料、生活必需品などの物資
- ・流通在庫備蓄・・・協定締結している民間事業者からの物資
- ・広域支援・・・市町村からの支援物資
- ・プッシュ型支援・・・国や北海道からの支援物資

上記の備蓄、支援などを考慮し

公的備蓄の対応期間は  
**発災から概ね12時間後から1日間**

(公的備蓄品目)

公的備蓄品目は、救援物資が到着するまでの必要物資とします。

- ・食料・飲料水・・・アルファ米、粉ミルク、飲料水など
  - ・生活必需品・感染症対策品・・・毛布、紙おむつ、マスクなど
  - ・災害用トイレ・・・簡易トイレ（自動ラップ式トイレ）など
  - ・避難所資機材・・・発電機、LED投光器、簡易ベッド、体温計など
- ※食料など各年齢に適した備蓄品目の整備を進めるとともに、消費期限や日常点検を通じて、備蓄品の更新を図ります。

## ○備蓄倉庫

速やかな避難所開設のため、市内小中学校などに公的備蓄物資の分散備蓄（分散備蓄倉庫）や物資補充のため集中備蓄（集中備蓄倉庫）を行います。

## ○家庭内備蓄、事業者の備蓄

市民及び事業者は「**最低3日間、推奨1週間**」分の食料、飲料水、生活必需品、携帯トイレ、医薬品などの備蓄に努め、家庭内備蓄の食料についてはローリングストックによる備蓄に努めることとします。

## ○流通在庫備蓄

様々な団体、企業などとあらかじめ協定を締結し、災害時に必要な物資を調達する仕組みを整えており、今後も災害時に備え流通在庫備蓄の体制強化を図ります。